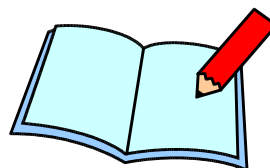


## H 2 8 全国学力・学習状況調査の結果について

4月に、6年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が既に新聞やニュースで報道されました。敦賀市のホームページにも、市全体の結果や傾向が紹介されます。

敦賀北小学校でも、学力のさらなる向上をめざし、学校全体で指導法改善に取り組んでいます。調査対象は6年生ですが、学習内容は1年生からの積み重ねです。結果の傾向を保護者の皆様にも知っていただき、今後の学力向上に向けてのご理解とご協力をお願いいたします。

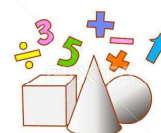


### 1 教科に関する結果から

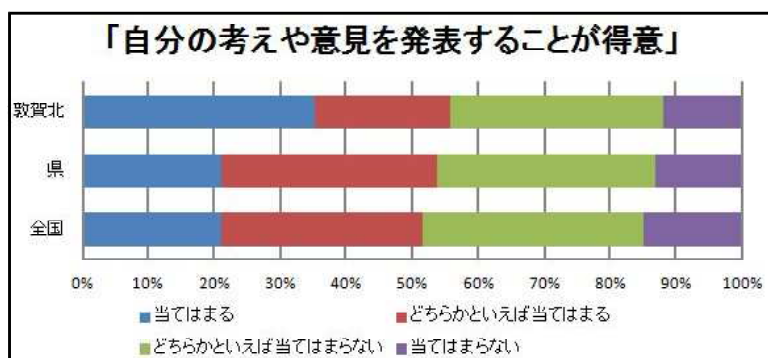
国語	強み	<p>◎漢字の書き取りができています。</p> <p>◎ローマ字を「読む」力がついています。</p> <p>◎根拠となる表現をもとにして、登場人物の人物像を読み取る力がついています。</p> <p>〈問題例〉「おばあさんの飛行機」という物語を読み、登場するおばあさんがどのような人物なのかについて考えました。根拠となる表現を選びましょう。</p>
	弱み	<p>△ローマ字を「書く」ことが苦手です。</p> <p>△質問された内容に沿って、必要な情報を正しく読み取り条件に合わせて書くことが苦手です。</p> <p>〈問題例〉次に入る内容を、あとの条件に合わせて書きましょう。</p> <p>①心に残ったことが伝わるように書くこと。②資料2から取り上げて書くこと。③四十字以上、六十字以内で書くこと。</p>
	今後の取組	<p>○文章を速く・たくさん読む力をつけます。</p> <p>・読書量のアップ、ドリルタイムの改善、多読・速読へのステップ</p> <p>○条件に応じた書く力をつけます。</p> <p>・「200字作文の積み重ね」、「振り返り」の工夫・改善、ノート指導</p> <p>○学習した漢字やローマ字を継続的に振り返り、積み上げていきます。</p> <p>・パソコン操作を活用したローマ字の学習</p>

算	強 み	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎確かめの計算がしっかりできています。</li> <li>◎計算の結果を見通して解く力がついています。</li> <li>◎計算の意味を説明する力がついています。</li> </ul>
	弱 み	<ul style="list-style-type: none"> <li>△小数点が入っている計算問題に間違いが多く見られます。</li> <li>△割合の考え方を使って解く問題が苦手です。</li> </ul>
数	今 後 の 取 組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学年に応じたかけ算・わり算の反復学習を朝学習の時間に組み込みます。</li> <li>○小数の加法・減法と乗法の計算方法を混同しているため、乗法の導入時には筆算形式において「小数点をそろえる・そろえない」の違いに着目し丁寧な指導を行います。除法は学年をまたぐので総合的な復習を意識して取り組みます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小数の計算は、1年生の繰り下がり、2年生の九九、3年生のかけ算の筆算など全てを関連させて学習していきます。</li> </ul> </li> <li>○基準量を1とし割合を表す小数(小数倍)によって比較量を求めることや、線分図などを用い基準量と比較量の関係を視覚的に捉える事を通して、理解を深められるようにします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2年生「テープ図」の学習から数直線に結びつけていきます。</li> </ul> </li> </ul>

## 2 学習状況調査・アンケートの結果から

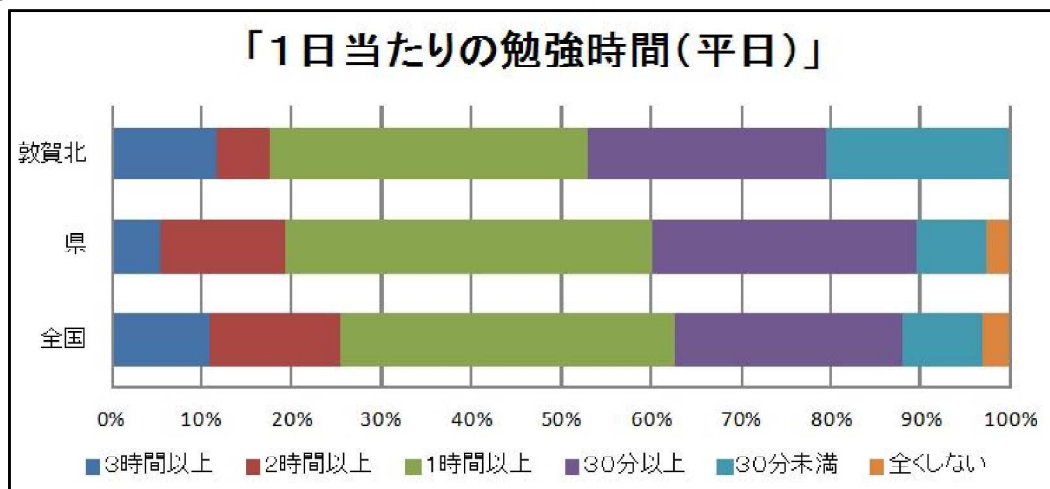


「友だちの前で自分の考えを発表する事は得意か」、「授業に自分から考え、自分から取り組んでいた」、「ねらいが示されていた、ノートにまとめ、課題を書いた」、「話し合う活動が多い」、「こまっている人を助ける」、「学級会の活動において、



きまりなどを決めていっている」という問いに関して、「当てはまる」「そう思う」という回答が非常に多く、話し合い活動等日頃の取組が成果を上げています。

一方で、「将来に夢や希望を持っている」という児童の割合が全体的に少なく、今後も「私の夢カルテ」等を活用したキャリア教育を推進していきます。また、家庭での学習時間が全体的に短くなっています。学習習慣を身に付けるために、家庭と連携を図りつつ、適度な課題を設定していきます。



### <学力向上の具体的方策>

- グループ学習を中心とした、「児童主体の学び」と「自分で考える場面づくり」を重視した授業改善を図ります。  
 (自分の考えを100字程度で「書く」  
 → 「話し合う」場面の設定)



- 毎日の「朝学習」や特設の「いきいきタイム」を活用したドリル学習の強化により、基礎学力の習熟と定着を図ります。9月から12月にかけて、各学年で各種教科コンテンツを実施し、学校全体としての基礎学力アップ運動を継続強化します。
- 読書活動をさらに推進するために、毎日の朝読書では学年ローテーションによる「図書館読書」を実施します。  
 週末に家庭で保護者と一緒に読書をする「家読(うちどく)」の取り組みとリンクさせ、児童一人ひとりにカード(「めざせエベレスト!どくしょカード」)を持たせて多種多読を推進します。

今後も、ご家庭との連携を十分に図りながら、北っ子たちの学力および生活力の充実を図って参りますので、ご協力の程、宜しくお願い致します。